

とよなか都市創造研究所
平成 28 年度（2016 年度）調査研究報告会
開催案内

1 . 目的

とよなか都市創造研究所において平成 28 年度に実施した調査研究成果を報告します。報告会は、都市政策に関する問題等について市民や市職員の認識を深め、市民の市政に対する理解並びに市職員の政策形成能力の向上を深めると同時に、本市の地域資源を再確認し、これからの地域づくりを考える機会として実施するものです。

2 . 主催

政策企画部とよなか都市創造研究所
総務部人事課

3 . 日時

平成 29 年(2017 年)5 月 30 日(火) 15 : 00 ~ 17 : 00

4 . 場所

市役所別館 3 階 研修室

5 . 対象

市民及び受講を希望する職員 50 名程度

6 . プログラム

15 : 00 ~ 15 : 02	所長挨拶
15 : 02 ~ 15 : 30	研究報告 1 「公共データの活用のあり方に関する調査研究」
15 : 30 ~ 16 : 00	研究報告 2 「南部地域の活性化に向けた調査研究」
16 : 00 ~ 16 : 30	研究報告 3 「豊中市の地域経済構造分析に関する調査研究」
16 : 30 ~ 17 : 00	質疑応答

7. 内容

研究報告1「公共データの活用のあり方に関する調査研究」

(報告：大平晃子(主任研究員))

市が保有する「公共データ」を今後の施策に有効活用するための方策として、オープンデータや庁内でのデータ共有について検討したほか、平成27年度の基幹研究「総合計画等の見直しにかかる基礎調査」で実施した「まちづくりのための市民意識調査」の結果などを活用したデータ分析を行った。

職員公募によるグループ研究を通して調査研究を行い、職員の人材育成につながった。

研究報告2「南部地域の活性化に向けた調査研究」

(報告：比嘉康則(研究員))

豊中市の南部地域は現在、市内でも顕著な人口減少と少子高齢化が進行している。そのような地域の活性化を図るためには、どのような取り組みが求められるのか。既存の統計資料等の整理や、大阪音楽大学の学生や若い世代を対象とした質問紙調査の分析から、南部地域の活性化に向けた方向性について検討した。

研究報告3「豊中市の地域経済構造分析に関する調査研究」

(報告：熊本伸介(研究員))

人口の減少などの社会環境の変化が豊中市の経済にどのような影響を与えるのかについて、本市の経済のモデルとデータから明らかにし、豊中市の主要な産業の可能性と課題について考察を行った。また、大阪国際空港の経済波及効果など、豊中市にどのようなインパクトをもたらすかを調査研究した。

